



## はじめる前に

Cisco Secure Firewall 6100 は、AI 対応の超ハイエンドファイアウォールであり、優れたスループットをラックユニットごとに提供するように設計されています。高性能のデータセンターや通信モビリティ インフラストラクチャ環境に最適化された Cisco Secure Firewall 6100 は、迅速な脅威検知を可能にするマルチソケット、マルチコアアーキテクチャを備えています。専用の暗号化モジュールにより大規模環境における高スループットの IPsec および TLS 接続ターミネーションが促進されるため、業界をリードする暗号化パフォーマンスが 2 ラックユニット (RU) のフォームファクタで実現します。

ASDM を使用して ASA を設定します。



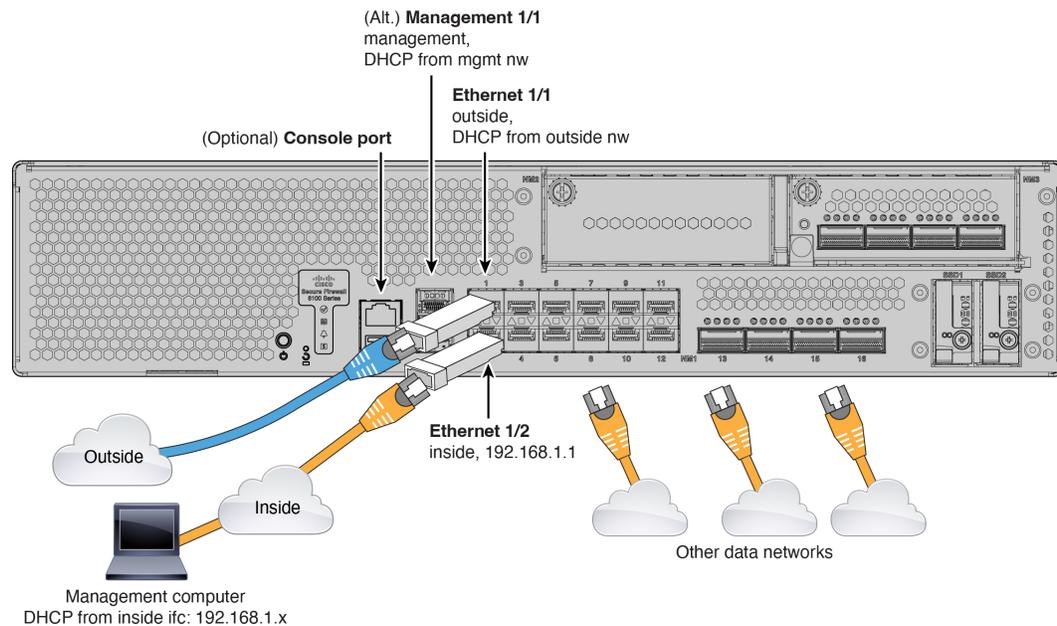
(注) Cisco Secure Firewall 6100 は、アプライアンスモードでのみ実行されます。FXOS をシャーシマネージャとして使用するプラットフォームモードはサポートされていません。アプライアンスモードでは、ASA のすべての設定を行うことができます。FXOS CLI からは、高度なトラブルシューティング コマンドのみ使用できます。

- [ファイアウォールのケーブル接続 \(1 ページ\)](#)
- [ファイアウォールの電源の投入 \(2 ページ\)](#)
- [インストールされているアプリケーション \(Firewall Threat Defense または ASA\) の確認 \(4 ページ\)](#)
- [ASA CLI へのアクセス \(5 ページ\)](#)
- [ライセンスの取得 \(6 ページ\)](#)

## ファイアウォールのケーブル接続

- (任意) コンソールケーブルを入手します。デフォルトではファイアウォールにコンソールケーブルが付属していないため、USB から RJ-45 へのサードパーティ シリアル ケーブルなどを購入する必要があります。
- (任意) 管理 1/1 に SFP を取り付けます。これは SFP/ SFP+/SFP28 モジュールを必要とする 1/10/25 Gbps SFP28 ポートです。

- データ インターフェイス ポートに SFP を取り付けます。イーサネット1/1 ~ 1/12 の固定ポートは、SFP/SFP+/SFP28 モジュールを必要とする 1/10/25/50 Gbps SFP28 ポートです。イーサネット 1/13 ~ 1/16 は、SFP/SFP+/QSFP+/SFP28/QSFP28 モジュールを必要とする 1/10/25/50 Gbps QSFP28 ポートです。
- 詳細については、[ハードウェア設置ガイド](#)を参照してください。



## ファイアウォールの電源の投入

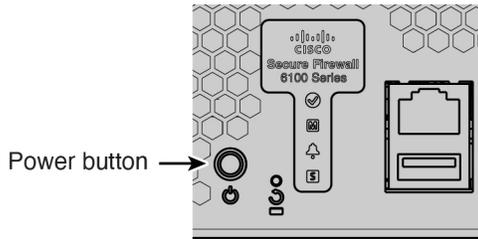
システムの電源は、ファイアウォールの背面にある電源ボタンによって制御されます。電源ボタンは、ソフト通知を提供します。これにより、システムのグレースフルシャットダウンがサポートされ、システムソフトウェアおよびデータの破損のリスクが軽減されます。

### 手順

**ステップ 1** 電源コードをファイアウォールに接続し、電源コンセントに接続します。

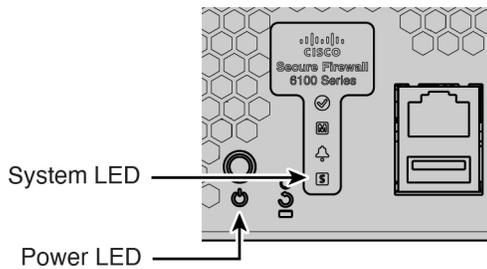
**ステップ 2** シャーシの背面で、電源コードに隣接する電源ボタンを使用して電源をオンにします。

図 1: 電源ボタン



ステップ 3 LED の現在のステータスを確認します。

図 2: LED



- 電源 LED : 緑色で点灯している場合は、ファイアウォールの電源がオンになっていることを意味します。
- システム (S) LED : 次の動作を参照してください。

表 1: システム (S) LED の動作

LED の動作	説明	デバイスの電源を入れた後の時間 (分:秒)
緑色で高速点滅	起動中	01:00
オレンジ色で高速点滅 (エラー状態)	起動に失敗しました	01:00
緑色で点灯	アプリケーションがロードされました	15:00 ~ 30:00
オレンジ色で点灯 (エラー状態)	アプリケーションのロードに失敗しました	15:00 ~ 30:00

# インストールされているアプリケーション（Firewall Threat Defense または ASA）の確認

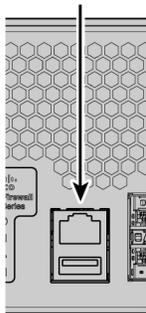
Firewall Threat Defense と ASA の両方のアプリケーションが、ハードウェアでサポートされています。コンソールポートに接続し、出荷時にインストールされているアプリケーションを確認します。

## 手順

**ステップ1** コンソールポートに接続します。

図 3: コンソールポート

RJ-45 console



**ステップ2** CLI プロンプトを参照して、ファイアウォールで Firewall Threat Defense または ASA が実行されているかどうかを確認します。

### Firewall Threat Defense

Firepower ログイン（FXOS）プロンプトが表示されます。ログインして新しいパスワードを設定せずに、切断することができます。

```
firepower login:
```

### ASA

ASA プロンプトが表示されます。

```
ciscoasa>
```

**ステップ3** 間違ったアプリケーションが実行されている場合は、[Cisco Secure Firewall ASA](#) および [Secure Firewall Threat Defense 再イメージ化ガイド](#)を参照してください。

# ASA CLI へのアクセス

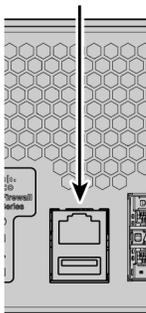
設定またはトラブルシューティングのために CLI にアクセスする必要がある場合があります。

## 手順

**ステップ 1** コンソールポートに接続します。

図 4: コンソールポート

RJ-45 console



**ステップ 2** ユーザー実行モードで ASA CLI に接続します。このモードでは、多くの **show** コマンドを使用できます。

```
ciscoasa>
```

**ステップ 3** 特権 EXEC モードにアクセスします。このパスワード保護モードでは、コンフィギュレーションモードへのアクセスなどのさまざまなアクションを実行できます。

**enable**

**enable** コマンドを最初に入力したときに、パスワードを変更するように求められます。

例 :

```
ciscoasa> enable
Password:
The enable password is not set. Please set it now.
Enter Password: *****
Repeat Password: *****
ciscoasa#
```

**ステップ 4** グローバル コンフィギュレーション モードにアクセスします。

**configure terminal**

例 :

```
ciscoasa# configure terminal
```

```
ciscoasa (config) #
```

**ステップ 5** FXOS CLI にアクセスします。この CLI は、ハードウェアレベルでのトラブルシューティングに使用します。

#### **connect fxos [admin]**

- **admin** : 管理者レベルのアクセスを提供します。このオプションを指定しないと、読み取り専用アクセスになります。管理者モードであっても、コンフィギュレーションコマンドは使用できないことに注意してください。

ユーザーはクレデンシャルの入力を求められません。現在の ASA ユーザー一名が FXOS に渡されるため、追加のログインは必要ありません。ASA CLI に戻るには、**exit** と入力するか、**Ctrl+Shift+6** を押し、**x** と入力します。

例 :

```
ciscoasa# connect fxos admin
Connecting to fxos.
Connected to fxos. Escape character sequence is 'CTRL-^X'.
firepower#
firepower# exit
Connection with FXOS terminated.
Type help or '?' for a list of available commands.
ciscoasa#
```

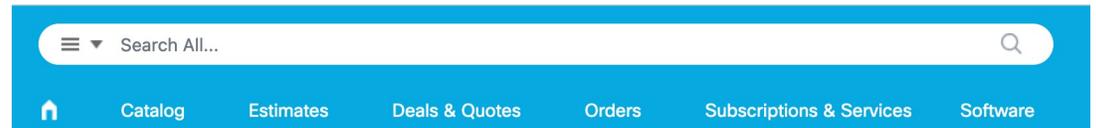
## ライセンスの取得

ライセンスは、シスコまたは販売代理店からデバイスを購入した際に、スマートソフトウェアライセンシングアカウントにリンクされています。[Smart Software Manager](#) にアカウントがない場合は、リンクをクリックして[新しいアカウントを設定](#)します。

Cisco ASA には次のライセンスがあります。

- Essentials : 必須
  - セキュリティ コンテキスト
  - キャリア (Diameter、GTP/GPRS、M3UA、SCTP)
  - Cisco Secure Client
1. 自身でライセンスを追加する必要がある場合は、[Cisco Commerce Workspace](#) で [すべて検索 (Search All) ] フィールドを使用します。

図 5: ライセンス検索



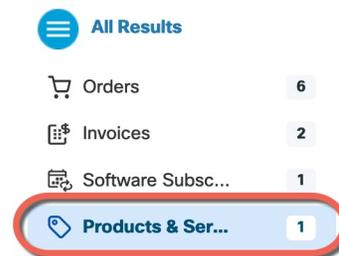
2. 次のライセンス PID を検索します。



(注) PID が見つからない場合は、注文に手動で PID を追加できます。

- Essentials : 自動的に含まれます。
  - 10 コンテキスト : CSF\_6100\_ASA\_CONTEXT コンテキストライセンスは追加的です。複数のライセンスを購入します。
  - キャリア (Diameter、GTP/GPRS、M3UA、SCTP) : CSF\_6100\_ASA\_CARRIER
  - Cisco Secure Client : 『[Cisco Secure Client Ordering Guide](#)』を参照してください。ASA では、このライセンスを直接有効にしないでください。
3. 結果から、[製品とサービス (Products & Services)] を選択します。

図 6: 結果





## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。